

事業報告の附属明細書

1. 役員の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

特にありません。

2. その他の記載事項

(1) 正味財産増減の状況及び財産の増減の推移について補足すべき重要な事項

投資有価証券評価損益等において基本財産運用先の一部投資信託において損益マイナスのまま繰上償還がなされ、全体として 15 百万円のマイナスとなりました。

自立支援事業におけるイングリッシュキャンプの再開や福祉団体等活動助成事業における助成先の増加もあり、事業費が 5 百万円の増加となっています。

しかしながら、新たに基本財産への寄付金 33 百万円を受けたことにより、正味財産期末残高は、前事業年度末 578 百万円から当事業年度末 586 百万円と前事業年度と同等の結果となりました。

(百万円未満四捨五入)

(2) 調査研究及び情報の収集

児童福祉の現場の実態に即し、実効性の高い活動を行うために、国内外の活動事例の情報収集や児童福祉活動の現場へのフィールドワークを実施しました。

① 施設訪問・児童福祉団体等面談 4 施設・6 団体

② セミナー及び大会参加 4 回

(3) 職員等研修

2023 年 12 月、コンプライアンス関連知識の向上を目的とし、e ラーニング方式による研修を実施しました。研修プログラムは次のとおりです。

1. 社内規程類の内容の再確認 2. 主要法令の重要ポイントの再確認 3. インサイダー取引規制に関する重要ポイントの再確認